

主な活動の紹介

○浅江地区小中連携の取組



小学校の水泳記録会や陸上記録会に向けて、中学生が「リトルティーチャー」となって小学校に行き、小学生と一緒に活動したり、アドバイスをしたりしました。



小中合同研修会 9年間を見通したキャリア教育について合同で意見を出し合い、研修を深めました。



毎週1回、中学校の数学科教員が小学校に出向き、6年生の算数の授業を行います。他教科においても、「出前授業」として中学教員が小学校で授業を行っています。

○学校と地域とのつながり（*敬老と福祉のつどい）

竹細工



作品プレゼント



しめ縄づくり



ニジガハマギク植樹



成果と課題

小中連携を柱にした取組では、教員同士の交流が深まり、教科指導や生徒指導面での連携がよりスムーズになり、児童生徒間の信頼関係や自己有用感が高まっています。小中合同研修会や小中定例会も定期的継続的に行われるようになり、浅江地域の子どものための9年間の学びと育ちを見通した地域づくりの基盤が築かれつつあります。

将来的には地域の高等学校（光丘高校）との連携もさらに充実させながら、浅江地区の未来を担う人材を育成すべく、地域の学校間連携を「小中高連携」にまで発展させる必要があると考えています。また、各校PTA組織を、地区コミュニティにどう融合させていくかが今後の課題となっています。

今後の取組

現在、浅江中学校の「あさなえネット」が先進的に活動を行っており、平成26年度には浅江小学校もコミュニティ・スクールになる予定です。

小・中学校それぞれのプロジェクト部会をリンクさせるとともに、委員の選出についても浅江地域全体を巻き込んでいく必要があります。各PTAとも連携を図りながら「めざす子ども像」を共有し、「地域の子どもはみんな育てる」という一貫性のある取組を考えています。

今後は、小中連携をより深めるとともに、女性の地域リーダーにも多くかかわりをもってもらいながら、つながり日本一をめざして、進化させたいと思います。

